

北日本新聞 八月七日の記事

北日本新聞を讀んで、今年で七十周年を迎えた。被爆者の高齢化により、被爆者数は七一〇時の二分の一を割って、約十八万人になつてしまつた。そのため、私達や後世の子とも達には、原爆やそれによつて被爆することの恐ろしさを伝承する人の数も減少している。

私が「被爆」という言葉を知つたのは四年前、日本を襲つた東日本大震災で原子力発電所が爆発した時だつた。初めて言葉の意味を理解したとき、私は身が震えるほどゾツとした。同時に、どうして今までこの言葉について知らなかつたのだらうと思つたことを鮮明に覚えてゐる。

私は、毎年夏になると、祖母と戦争について話す。祖母は、小学生の時に富山の空襲を目の当たりにしてゐた。空が赤くなり、涙も分からず母親に裁縫道具を持たされ、防空頭巾を被らされて逃げたという。当時の祖母には何が起きていたのか全く分からなかつた。その

No.

1

書き出しは一マスあける。

改行の場合も同じく、書き出しは一マスあける。

「、」などの符号は原則として二つのマスに入れる。

うた。街は火で覆われ、がれきで足の踏み場もなく、寝泊りする場所すらなかつた。祖母は毎年繰り返し真剣に私に話してくれた。今年も、テレビで広島での追悼式を見ながら、祖母はいつもの話をしてくれた。実際に戦争を経験していない私は、本当の恐ろしさやまだ理解していない。しかし祖母は、理解する必要はないという人もいると言う。そのように言う人はきっと、今後戦争など二度と起きてほしくないという願う人だろう。私も、戦

争はあってはならないことだと思っている。た。た一発で、多くの尊い命を奪った原子爆弾。爆発そのものに巻き込まれた人もいれば、その後の被爆により、命を失った人もいる。直接放射能を浴びた人は、四十度を越える高熱に苦しんだりしてすぐに死んでしまったという。また、外壁を通して被爆した人は、長い時間が経つうちにたんだんと体が弱くなり、七くな。てい。た。た。た。た。その子供にまで影響がある被爆した人の場合、その子供にまで影響がある

書き出しは「マスあける。」
改行の場合も同じく、書き出しは「マスあける。」
「。」などの符号は原則として「」のマスに入れる。

った。本当に恐ろしいことだと思う。
 日本は、このような経験をした後、平和主
 義を選択し、二度と戦争をしないと誓ったは
 ずだった。
 しかし、最近では「集団的自衛権」という
 言葉が問題となっていている。これは、戦後日本
 が貫いてきた「平和主義」に反するものであ
 る。憲法に従わず、日本が「戦力」を持つて
 もよいのか。過去に恐ろしい経験をしており
 ながら、また、人々の尊い命を奪おうという
 のだろうか。
 私は、再び戦争が起き、罪のない人間が何
 千人、何万人も亡くなってしまうのは嫌だ。
 戦争は自然災害とは違う。地震や津波、台風
 など予知できない災害とは違い、考え方によ
 っては防ぐことのできるものだと思う。最初
 から「戦力」など持つ必要はないと考える。
 「集団的自衛権」に対しても、人々の考え
 や意見は様々であるが、今の日本が成り立っ
 た背景を理解した上で議論すべきだと思う。

書き出しは「マスあける」。
 改行の場合も同じく、書き出しは「マスあける」。
 ・、「」などの符号は原則として「」のマスに入れる。

そして、平和を守りたいという日本国民の意見を見を議決に反映してほしいと思う。

広島原爆ドームは、核兵器による惨状をそのままの形で今に伝える世界で唯一の建造物であり、核兵器廃絶と恒久平和の大切さを訴える、他に例を見ない平和記念碑であること」が評価され、一九九六年に世界文化遺産に登録されて以来、海外からの観光客もたくさん訪れるようになった。アメリカやオーストラリア、中国からの観光客だけでなく、

修学旅行などで日本の子ども達にとっても戦争を学び、平和を守るための大切な場所となっ

た。これから、このような記念の場所に多くの人々が訪れるだけでなく、戦争の経験をした人たちの話を聞き、戦争の本当の恐ろしさや命の尊さを忘れないようにしなければならぬ。そして、次の世代にも語り継ぎ、一人ひとりが戦争について考え、意見を交わしてい

くことが大切だ。平和を守るといふ気持ち

書き出しは一マスあける。

改行の場合も同じく、書き出しは一マスあける。

「、」などの符号は原則として二つのマスに入れる。

共有し、今現在も戦争をしている地域すべてに、平和が訪れるような活動をしていかなければならないと思う。

これ以上、尊い命が無駄に奪われることのないように。

書き出しは「マスあける。」
改行の場合も同じく、書き出しは「マスあける。」
「。」などの符号は原則として二つのマスに入れる。